



事務事業名	ごみ収集・運搬事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	業務係
-------	-----------	-----	-------	-----	---------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和45年に廃棄物の処理及び清掃に関する法律において、一般廃棄物の処理を市町村の責任としたことに伴い開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成17年2月28日の佐野市、田沼町、葛生町の合併により、ごみ排出方法が統一された。分別については、平成18年4月より田沼・葛生地区は6種13分別に変更になったが、佐野地区においては、新ごみ処理施設建設中のため、6種14分別であった。ごみ処理施設完成後の平成19年4月より佐野地区も6種13分別になり、全地区において分別が統一された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 収集されたごみを、適正に処理できる施設に運搬することは、資源化の推進、不法投棄の防止にも繋がり、ごみのない住み良い生活環境の実現につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 廃棄物の処理及び清掃に関する法律において一般廃棄物の処理は、市町村で行う事務事業である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 この事業は、家庭からごみステーションに排出される一般廃棄物を適正に収集することを目的に実施しているため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 分別して、家庭からごみステーションに排出されるごみは、総べて収集しているので向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案 類似する目的や手段を持つ他の事務事業はない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 ごみ収集以外にも、環境美化活動の回収、資源の搬出、粗大ごみ及び廃家電の収集運搬等がある。また、土曜開庁による指定休(土曜日に収集業務を行っているため平日に休む)や、急な休み(体調不良など)に対応のため、職員の人数が減ると収集業務に支障が出るので人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 廃棄物の処理及び清掃に関する法律において一般廃棄物の処理は、市町村で行う事務事業である。家庭から排出されるごみを対象に収集しており、受益者負担を見直す必要はない。事業系のごみの収集は、排出者の費用負担で、佐野市一般廃棄物収集運搬許可業者が収集している。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律で一般廃棄物の処理は、市町村で行う事務であり、休止・終了はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			